

自身の機械をベストコンディションに!

農閑期に機械の点検整備(清掃)を実施しましょう

1. 点検整備のメリット

- ・劣化の防止で機械の寿命が延びます。
- ・農作業中の不具合(故障)が軽減できます。
- ・部品の消耗状態を適切に把握できます。

農閑期の点検整備(清掃)で
農作業中の機械故障を少なくして
作業計画通りに農作業ができるようにしましょう

2. 点検(作業)項目

- ・機械の清掃(泥や稲わらの除去) ← **大変重要です!**
- ・注油・グリスアップ
- ・エンジン関係(バッテリー・ラジエーター・ファンベルト・エンジンオイル・エアクリーナー・燃料ホース等)
- ・作業機関係(油圧オイル・ミッションオイル・作業爪等)
- ・電気関係(ブレーキランプ・ウインカー等)



コンバインの場合

機械の清掃(泥や稲わらの除去) ← 大変重要です!

- ① 引き起し爪
- ② 各チェーン(動力伝達用・搬送用)
- ③ 各ベルト
- ④ 刈刃
- ⑤ こぎ胴(わら切刃・受けアミ・こぎ歯)
- ⑥ カッター刃
- ⑦ 足回り(クローラ・回動部)
- ⑧ 注油・グリスアップ(説明書の指定箇所)



【ご用命は各メーカーまたはJAの農機センターへご依頼ください】

●小浜農機センター
TEL.56-5015
FAX.56-5015

●上中農機センター
TEL.62-1656
FAX.62-0731

●大飯農機センター
TEL.77-1175
FAX.77-1175

「そのまま放置」は機械の劣化に繋がります!

農機具を圃場で使ったまま格納していませんか?



機械はサビで壊れます



しっかりと掃除して
注油とグリスアップしてから
格納しましょう



一寸
そら豆

目指せ1.5トン穫り!

圃場準備

- 3~4年マメ科野菜を栽培しておらず、日当たりがよく越冬後の開花・さや肥大期にかん水可能な圃場を選ぶ。
- 定植1週間前までに元肥を施用する。
- 圃場が乾いているときに作業し、耕起、整地、畝立まで行う。
- 畝は幅 150 ㍍(天幅は 70~80 ㍍)、高さ 25~30 ㍍にする。

マルチ張り

- 一度雨にあてるか、かん水し、土壌に十分に水分がある時に黒マルチ(150 ㍍幅)を張る。

定植

- アブラムシ対策として、アドマイヤー1粒剤を植穴に2粒混和する(3畝/10 ㍍)
- 本葉1~2枚程度の若い苗を種子の一部が見える程度に浅く、畝中央へ45 ㍍間隔で植え付ける(植栽株数 1,480 株/10 ㍍)

摘心

- 本葉3~4枚になったら主茎の生長点部分を摘心する。
- 生育の悪い場合は液肥 500 倍液をかん注する

排水溝の再整備

- 越冬期間中に湿害を受けないように、排水溝を再整備する。

●元肥一括型(畝/10 ㍍)

施用時期	肥料名	マルチ栽培施肥量
定植1ヵ月前	完熟たい肥(又はアヅミン)	2,000(40)
定植1週間前	マグフミン	140
	ソラマメ専用222	150
追肥(必要に応じて)	硫酸カリ	20
	そさい5号	40

●分施肥(畝/10 ㍍)

施用時期	肥料名	マルチ栽培施肥量
定植1ヵ月前	完熟たい肥(又はアヅミン)	2,000(40)
	石灰窒素	40
定植1週間前	マグフミン	100
	苦土重焼リン	30
	スーパーIBS222	40
追肥(3月、4月)	硫酸カリ	20
	そさい5号	40